

記念商品販売のお知らせ

皆様に支えられた世界寺子屋運動はおかげさまで今年30周年を迎えます。
カンボジアの寺子屋で学んだ女性たちが心を込めてひとつひとつ
丁寧につくり上げたバックをこの度記念販売いたします。
収益は現地の女性たちの就業支援と子どもたちへの教育支援につながります。
購入はもちろん販売協力に関心のある方は是非！お問い合わせください。



〔つくり手〕カンボジア・チョンクニア村の女性たち



〔素材〕カンボジアのトンレサップ湖に自生する
ウォーターヒヤシンス（ホテイアオイ）



〔寸法〕 高さ 15cm
横幅 26cm
マチ 11cm
持ち手 14cm

販売価格：3,500円／1個

〔内訳〕 1,000円 つくり手が受け取る対価
1,300円 カンボジアからの送料、諸経費等
1,200円 世界寺子屋運動への支援

担当：事業部 仁藤 木村
03-5424-1121

※送料についてはお問い合わせ下さい。

ウォーターヒヤシンス（布袋葵） バッグができるまで ～その製作工程を追う～

実際にバッグを作っているチョンクニア村の女性たちに聞きました！

① 布袋葵を採取する

布袋葵の採取場は雨季と乾季で大きく異なる。雨季は居住地域まで布袋葵が流れてくるが、乾季はボート2時間、徒歩2時間をかけて、群生地まで採取しに行かなければならない。



② 茎を切り取る

茎についた泥などの汚れを洗う。葉や茎を切りとり、同じ長さに揃える。



③ 10日間乾かす

水上家屋の屋根を利用し、布袋葵を乾燥させる。その後、汚れを再度取り除く。



⑩ 持ち手（ストラップ）を付ける



完成



④ 硫黄で燻す

燻すことで 茎がしなやかになる。さらに1日間乾燥させ、素材準備が完了。



⑨ 余った布袋葵を内側に 入れ込む



⑤ 木型を制作する

木型を利用し、同一規格のバッグを制作できる



⑧ 木型からバックを外す



⑦ 底部から中心部にかけて編込む

大きさにより
編み込み日数は
1日～2日かかる



⑥ 木型に布袋葵を固定し編込む

